

式 辞

許斐山・磯部山・四塚の若葉のみどりが生えまさり、流れも清き釣川の岸の下草もえ匂う、春和景明（しゅんわけいめい）の佳き日に、御来賓並びに保護者の皆様の御臨席を賜り、令和6年度宗像の郷中央学園宗像市立中央中学校の入学式を挙行できますことは、喜びと希望に満ちた新入生の皆さんはもとより、私共職員一同にとりましてもこの上ない喜びであり、心より感謝申し上げます。

ただいま呼名を終え、晴れて中央中学校の一員となられた151名の新入生の皆さん、改めまして、入学おめでとうございませう。豊かな才能と計り知れない可能性を持った皆さんを迎え入れることができ、職員一同、心から嬉しく思っています。これから本校の一員として、大きな志を抱き、夢と希望に溢れる学校生活を送られることを祈念しております。

何事もはじめは、不安や心配はつきものです。安心してください。そばには、頼りになるやさしい先輩方がたくさんいます。でも楽しみは自分で作り出すものです。

今までの中央中学校の伝統は、本日、式に参加する在校生をはじめ、諸先輩方が築き上げてこられました。いつの時代も、次の時代は皆さんのような若者たちのイノベーションによって創り出されていきます。持続可能な世界を実現する、未来の宗像市の創り手として、新入生の皆さんが活躍する日はすぐ来ます。これからの中央中学校の未来を創っていくのは皆さんです。共に新たな時間を笑顔いっぱい歩み始めましょう。

保護者の皆様、お子様のご入学、心よりお祝い申し上げます。
これから三年間、ご期待に応えられるよう職員一同、全力を
尽くして教育にあたる所存です。今後お子様は、一番多感な時
期、思春期を迎えます。加えて三年後は、進路選択という克服
しなければならぬ課題もあります。これらを乗り切るには、
学校だけでは、決してうまくいきません。家庭教育という土台
があつて初めて学校教育も大きな成果を得ることができると
考えます。中学生の時期は、親が思う以上に、教師が考える以
上に思い悩んだり、困ったりする時期でもあります。今まで以
上に保護者と学校の絆を太くし、さらに地域の皆さまのお力を
お借りしてこそ、子どもを大きく育て伸ばすことができると思
信いたします。

さて、ここ中央学園では、変化の激しいこれからの社会、
子どもたちの将来を見据え、平成21年から小中一貫教育を
はじめ、令和元年度からは、小中9年間の連続性や接続と一
貫性を重視した「縦のつながり」に加え、学校・家庭・地域
が連携・共働する「横のつながり」を大切にし、子どもの「社
会力」の育成をめざし、地域の大人を巻き込んだ小中一貫コ
ミュニティ・スクールを推進しています。

その成果は、宗像子ども大学をはじめとする教育活動にお
ける小中の連携に加え、ジュニアサポーターと称したボラン
ティア活動等続けることで、子ども達が「身近な課題を自
分事として捉え、自ら考え行動し、自らの良さを実感する」
ことを体得してきたと思います。

更に、一昨年度は、学校・家庭・地域の総がかりで、「子どもの豊かな心」を育成するためのサポート隊を組織して効果をあげているということが評価され文部科学大臣表彰を受けています。子どもたちは、そんな大人姿をしつかり見えます。子どもの「自律を育む大人のかかわり方」を学園全体で共有できたらと思っています。これから先、子ども達には、「ふるさとを愛し、進んで、みんなで、最後まで」を合言葉に、シティズンシップ教育の理念を浸透させた中央学園での小中一貫コミュニケーション・スクールの良さを体感させてあげたいと思います。今後とも保護者の皆様のご理解とご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

終わりにあたり、中央中学校78期生の皆さんが、これからの中学校生活を通して、自分の人生に「最上のもの」を連れてくるよう「勇往邁進」されんことを願っています。

それでは新入生の皆さん、
「将来の 夢に向かって 全力で

always look forward]

令和六年 四月十日

宗像の郷 中央学園 宗像市立中央中学校

校長 竹原 誠